

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	大崎広域ほなみ園		
○保護者評価実施期間	令和7年11月25日		令和7年12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28人	(回答者数) 24人
○従業者評価実施期間	令和7年11月25日		令和7年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数) 19人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	園児一人一人の発達段階に合わせた多様なプログラムを提供し、柔軟に対応できる点。園児の状態やペースに寄り添い、最適な支援を提供できるように努めている。	多職種の職員が連携して、子供の様子を観察し、支援方法を随時相談・見直しをすることで、質の高いサポートを実現している。	園児一人一人の障害特性や課題に合わせた教材を充実させていきたいと考える。
2	専門的な資格を持っている職員、児童福祉サービスに携わっている経験年数が多い職員が多いため、園児の特性や支援方法など多角的な視点から意見し療育につなげている。	ケース会議や、個別支援計画書を作成する際に意見を求めあいい、園児にとってどのようなプログラムなら楽しくかつ、成長の一つになるのかを職員全員で考え実施している。	多職種の職員がいるので、連携を図りながら療育の幅を広げること、引き続き、園児にとってより良い療育を提供していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民等とのかかわりが希薄になっている。	今年度から地域住民等が参加できる行事を再開したが、1回の実施に留まった。	外部の方を参集した場合、危機管理の徹底がいつも以上に重要となる。地域住民等の方々との交流する機会を段階的に実施できるように検討する。
2	きょうだい支援の提供が難しい。	行事は人数制限を設けている。	部分的に緩和しながら、きょうだい同士が交流する機会を検討する。

○第三者評価

	外部評価コメント
1	・概ね良好であると考えられます。引き続き、園児が安心して生活できる環境整備をお願いします。 ・限られたスペースや人員配置の中で、工夫して支援に当たられています。今後も利用者個々のニーズに配慮した環境整備に努めていただきたいと思います。
2	・概ね良好であると考えられます。 ・PDCAサイクルによる業務改善への職員の参画や、保護者からの声を踏まえた業務改善への取組など、事業所が一体となって業務改善に取り組んでいる様子が伺われます。今後も同様の取組を継続していただければと思います。
3	・これからも保護者のニーズを踏まえつつ、短期的、長期的な目標を明確にした支援プログラムの策定及び丁寧な説明をお願いします。 ・職員の共通理解の下、一人一人のニーズに応じたきめ細やかな支援が提供されていると思いました。
4	・今後も職員間での対応の共有をお願いします。 ・関係機関との連携や移行支援について、適切に行われていると思います。ご家族から要望のあるペアレント・トレーニングについても継続的に実施できると良いですね。
5	・ウェブ(アプリ)、写真等での活動の様子など、発信を工夫されています。今後も職員の負担とのバランスも考慮しつつ、発信の工夫をしていただけたらと思います。 ・保護者に対する丁寧な説明や対応がなされていると思います。連絡帳や送迎時のやりとりは、保護者との信頼関係を構築する上で大切ですね。
6	・概ね良好であると考えられます。訓練の様子をお知らせする取組は良いと思います。防災安全、危機管理についてマニュアルは常にブラッシュアップしていく必要がありますので、気付きを反映させる仕組みを工夫していただけたらと思います。 ・各種マニュアルやBCPの整備・訓練も実施されているようです。マニュアルやBCPは定期的に見直しを行い、最新のものにしておく必要があると思います。

※1 環境・体制整備, 2 業務改善, 3 適切な支援の提供, 4 関係機関や保護者との連携, 5 保護者への説明等, 6 非常時等の対応